

市政モニター提案の検討結果

富士宮を浅草や川越のような観光地に	
提案内容(要約)	検討結果
駅近くには、呉服店が多い。市と提携を結び着物浴衣の1日レンタルをして市をより活気づかせたらどうか。川越のように人力車もあればなお富士宮市のアピールになると思う。	ご提案の内容については、民間事業者が手掛ける事業となります。そのような事業が実施されることで、市全体の活性化が期待される場合は、富士宮市で楽しめるコンテンツの一つとして、PRに取り組んでいきたいと考えます。

市政モニター提案の検討結果

観光情報の発信を印刷物を減らし、二次元バーコードにシフトしよう

提案内容(要約)	検討結果
<p>エコ、経費削減で市の観光情報を二次元バーコード化し、印刷物を減らしたい。海外では、地図の案内板に二次元バーコードがあり読み込むと情報が得られる。</p>	<p>ご提案の内容のうち、二次元バーコードによる情報発信はすでに実施しているところですが、また、印刷物に二次元バーコードを組み入れることで、印刷物への記載がシンプルなものになり、結果として紙の使用量が減る可能性はありますが、最優先事項は「観光客に観光情報を届けること」であり、紙による情報を必要とする方も一定数いる以上、現在の印刷物をすぐに減らしていくことは難しいと考えます。</p>

市政モニター提案の検討結果

駅前の手動信号を英語表記	
提案内容(要約)	検討結果
外国人にとって押しボタンはなじみがないので、英語表記をつけるべきである。早急に対応をお願いしたい。	ご提案いただいた箇所は、市としても改善すべき箇所と捉えており、昨年度に信号の管理者である警察に働きかけたところです。これにより既に外国語表記のサインが設置されています。今後も引き続きサイン設置後の動向を注視し、改善に努めていきます。

市政モニター提案の検討結果

子育てしやすい市になるように	
提案内容(要約)	検討結果
<p>富士宮市は子育て環境の改善がされてきているが、他の自治体と比べると、少ないように感じるため、以下のような提案をしたい。</p> <p>1.低年齢でも遊べるような遊具の設置</p> <p>2.おむつなどの無償提供</p> <p>3.らっこのような屋内児童施設を増やす</p> <p>4.日曜日や祝日に子どもを預けられる保育施設を作る</p>	<p>1. ご指摘のとおり、ほとんどの遊具は対象年齢が6～12歳で、低年齢(1～3歳)対象の遊具は、外神東公園のみ設置してあります。 1～3歳の低年齢のお子さんが遊ぶ遊具を設置する場合には、地面に近い屋内が向いている一方、屋外に設置する場合は、危険が無いように、囲いやゴムチップ舗装によって、安心して遊べるエリアを、限定して設置していくことが望ましいと考えます。そのような条件を満たし、低年齢のお子さんが遊べるような遊具が設置できるよう、今後の参考にさせていただきたいと思えます。</p> <p>2.現在、令和4年4月以降に出産した方を対象に、「出産・子育て応援給付金」を実施しており、この給付金を出産や子育てのために役立てていただくことで、「子どもを安心して妊娠、出産できる環境づくり」の一助になるものと考えています。おむつの無償提供は現在のところ考えておりませんが、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>3.こどもの遊び場を増やすことは必要であると認識しておりますが、新たに建物を造る場合、多額な費用を要すること、また、造った後の運営に係るランニングコストについても毎年かなりの額を見込まなければなりません。 市としましては、新たに造るのではなく、児童館らっこの他に富士山環境交流プラザや芝川子どもふれあい広場、子育て支援センター、子育てサロンとった既存の施設もありますので、事業内容を充実させた上で市民への幅広い周知を行い、多くの方に利用していただくことにより、天候にかかわらず、また、お金がかからない子育ての一助となるよう努めてまいります。</p> <p>4.ご意見にあるように、日曜日・祝日の預け先確保によって就業の幅が広がることは考えられます。一方、日曜日・祝日の開園には保育士や調理師の配置が必要ですが、現状でもその確保に苦慮しているところです。 保育士不足は、全国的な問題のため、実現のハードルは高いと思えますが、ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>

市政モニター提案の検討結果

高齢者の認知症予防	
提案内容(要約)	検討結果
独居高齢者の認知症予防のためコミュニケーションのとれる場を作って欲しい。	<p>令和6年4月1日現在、市内の高齢者ひとり暮らし世帯は9,941世帯で市全体の世帯数の16.8%を占めており、前年度より359世帯増えています。</p> <p>また、高齢者夫婦のみ世帯と、その他の高齢者のみ世帯も合わせますと17,715世帯で、市全体の世帯数の30.0%は高齢者のみの世帯となります。</p> <p>そのようなことを踏まえ、市内では地域寄り合い処が115か所、認知症カフェが23か所など、独居高齢者の方も参加やコミュニケーションを図ることができる場を設けております。また、介護予防事業として転倒骨折予防教室やスロトレ、脳トレなどを今後も行っていきます。</p> <p>なお、お住まいの地域で、高齢者の方に向けてどのようなことが行われているか知りたいときは、地域包括支援センターや高齢介護支援課へお問い合わせください。</p>

市政モニター提案の検討結果

事務事業評価の公開について	
提案内容(要約)	検討結果
市の予算で執行している事業に関して、予算規模、従事職員数などを市民に公開すべきではないのか。	<p>現在、事務事業の成果につきましては、「富士宮市総合計画基本計画執行状況報告書」において、基本計画で定めた施策や事務事業における成果指標の達成状況と主要事業の執行状況を毎年度、評価しております。</p> <p>事業ごとの職員の人件費は計上しておりませんが、総合計画における各基本目標ごとの予算配分とその中で実施された主要事業の内訳を、広報ふじのみや等により市民の皆様にお知らせしております。</p> <p>現在の事務事業に関する評価、公表の手法は、過去の事務事業評価をはじめとする行政評価制度の運用を踏まえて構築され、最適化されたものであるため、提案いただいた内容を現時点において実施することは難しいと考えます。今後市民の皆様によりわかりやすくお伝えする方法を研究してまいります。</p> <p>また、市が行っている主要な施策の成果を市ホームページにて公開しています。ご参考にいただければと思います。</p> <p>決算に係る主要施策の成果に関する報告書 https://www.city.fujinomiya.lg.jp/municipal_government/kessan/copy_of_copy_of_copy_of_copy_of_h30kessan.html</p>

市政モニター提案の検討結果

外国人価格の設定	
提案内容(要約)	検討結果
富士山入山料・富士山世界遺産センター入場料の外国人料金設定をして欲しい	<p>富士山入山料について、静岡県が、富士山の環境保全や登山者の安全対策等を図るため、5合目より上に入る登山者から1人当たり1,000円を目安に富士山保全協力金として任意での協力をお願いしています。</p> <p>富士宮市といたしましては、富士山保全協力金は、富士山の環境保全や登山者の安全対策等を目的としていることから登山者が等しく一律の金額で負担していただくことがその趣旨から望ましいと考えているため、静岡県に対し、山梨県や関係市町と連携した上で検討していただくようお願いしているところです。</p> <p>市が運営する施設の入場料については、市の条例で料金が定められておりますが、外国籍の市民もいることから、外国人価格の設定は難しいと考えます。</p> <p>また、富士山世界遺産センターは静岡県の施設でありますので、富士宮市として静岡県にお願いすることは考えておりません。</p>

市政モニター提案の検討結果

不要なベビー用品の無償提供	
提案内容(要約)	検討結果
<p>ベビー用品を寄付し、必要な人が無償で受け取ることができる仕組みを保健センターで実施したらどうか。</p> <p>母子手帳交付時や検診案内、赤ちゃん訪問の際に、保健師からベビー用品を無償でもらえることを伝え広めていけば、必要な人たちにベビー用品が行きわたるのではないか。</p>	<p>保健センターでのベビー用品の寄付と無償譲渡の実施は、譲渡方法や在庫の保管などの観点から難しいと考えます。</p> <p>そこで市では、ベビー用品は、市民生活課で実施している不用品リサイクルバンクを、ベビーフードは、福祉総合相談課で実施しているフードバンク事業の活用を考えています。</p> <p>不用品リサイクルバンク、フードバンク事業が広がるよう、母子健康手帳交付、赤ちゃん訪問、乳幼児健康診査等での周知を図ってまいります。</p>